

## 閉校する学校の歴史的資料の調査・展示方法は

**Q** 平成30年度の予算措置は。調査・分類・台帳の作成日程は。調査の想定回数。

**A** 予算措置は、謝礼金と需用費のみ計上しています。また、資料の種類、数量等を把握するための予備調査を平成30年6月11日から開始し、これを基に夏休み期間中に詳細な調査を行います。資料台帳目録は、平成31年2月末頃までに作成します。

**Q** 調査員は、いつ、誰を、誰が任命するか。

**A** 平成30年7月中旬に教育長名での委嘱を予定しています。人選は、香取市文化財保護審議会委員2人、山田郷土史研究会会員2人、調査実績のある有識者1人、計5人をお願いし、生涯学習課の専門職3人、教育総務課1人、学校教育課1人の計5人と合わせて全体で、10人を見込んでいます。

**Q** 閉校する小学校の歴史的資料等の保管場所および展示場所・期間の考え方は。

## 選択と集中の事業で活力あるまちづくりを

## 大型事業が続くが財源は担保されているのか

**Q** 中長期財政推計のもと事業を推進しているが、合併特例債事業の活用実績と今後の事業計画は。

**A** 主な実績として、小・中学校の大規模改修事業や、小見川こども園整備事業、小見川・栗源地区の各市民センター整備事業等を実施してきました。現在継続中の佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業や、橘ふれあい公園整備事業等、整備手法の検討や事業費の削減を図りつつ、必要な事業および施設整備を進めていきます。

**Q** 地方債残高が一時期膨らみ、財政運営が厳しくなるが実質公債費比率は高くないか。また、公営企業との連結財務から見て、実質公債費比率はどうか。

**A** 引き続き、望ましいとされる範囲内で推移すると考えています。



たかぎ てんろく 高木 典六 議員

**A** 新たな小学校に移管されるもの以外は、教育委員会で保管し、場所は、旧山田町給食センターや廃校舎を想定しています。展示する際は、山田公民館を利用し、期間を限定した企画展示形式で、公開は、平成31年夏から秋頃になります。

## 橘ふれあい公園内体験学習施設の運営方法は

**Q** 橘ふれあい公園内体験学習施設について、旧広域老人福祉センターを利用して高齢者団体等の利用方法と違いはあるか。

**A** 体験学習施設は、旧広域老人福祉センターの機能を併せ持つ施設として整備しています。飲食も、従来施設と同様に利用いただけます。

**Q** 多くの人々に利用していただくため、旧施設と同様に無料送迎バスが必要。また、50インチ以上の大型モニターがある最



しんもと たけお 眞本 丈夫 議員

**Q** 行財政改革の目玉として、今年行う「事業仕分け」の進め方と事業構想は。実施方法の検討や委託業者の選定等を行っています。平成31年度予算等の事業実施に反映できるよう、平成30年11月下旬を目的に行います。

## 人口減少対策等、市の命運を託す新規事業に期待

**Q** 産婦人科誘致は若者の定住対策と共に、人口減少対策の切り札。どのような構想で進めているのか。

**A** 誘致にはさまざまな課題があり、極めて困難ではありますが、市では平成30年6月にプロジェクトチームを設置し、関係部署で横断的な検討を行いながら、産婦人科や産科クリニック等の誘致を推進していきます。

**Q** 異常気象が常態化する中、黒部川・小堀川合流点の土砂堆積対策は必須。

新の通信型カラオケ機器の導入が必要と考えるが。  
**A** 送迎バスの導入は有効であると考え、運行方法を検討しています。通信型カラオケ機器の導入は予定していますが、モニターの大きさは、見やすさなどから検討していきます。

**Q** 利用料金は。複数の団体の受け入れに対する対応は。

**A** 利用しやすいように時間単位での料金設定としています。複数の団体が合同利用する場合は、予約受付時に調整した上で、合同利用の可否を決めていきます。詳細な貸出・運営方法は、今後検討していきます。



工事が進む橘ふれあい公園内体験学習施設

市の対応状況は。

**A** 河川管理者である県に早急な対応を要望し、平成30年度には、一部の場所の土砂しゅんせつを予定しているとの回答をいただいています。

**Q** 高齢者向け生涯スポーツの推進状況と小見川スポ・コミトレーニングジムの利用状況は。

**A** 年齢や体力等に見合ったスポーツ教室や行事の充実、施設のバリアフリー化等に取り組んでいます。トレーニングジムの年間利用者数は、平成27年度から毎年10%前後増加し、平成29年度は延べ1万6266人です。



生涯スポーツ推進を担う小見川スポ・コミトレーニングジム